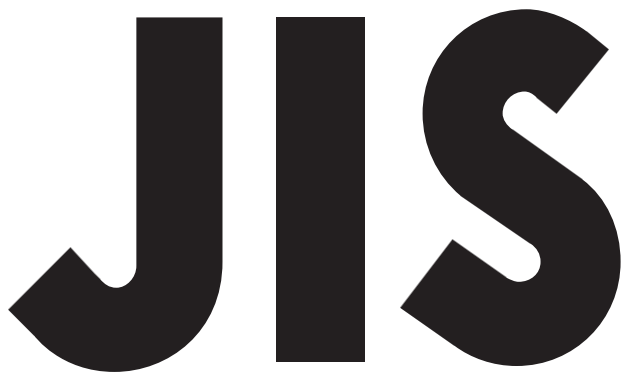




光伝送用能動部品－
パッケージ及びインタフェース標準－
第2部：10ピン SFF 形光トランシーバ

JIS C 5952-2 : 2024
(IEC 62148-2 : 2010)
(JSA)

令和 6 年 11 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電子分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	平 本 俊 郎	東京大学
(委員)	石 井 紀 彦	日本放送協会
	河 村 真紀子	主婦連合会
	西 城 武 志	総務省国際戦略局
	渋谷 隆	株式会社白山
	諏 訪 正 樹	KOA 株式会社
	内 藤 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	藤 井 哲 郎	東京都市大学名誉教授
	松 井 隆	日本電信電話株式会社
	山 田 誠	大阪公立大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.9.20 改正：令和 6.11.20

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 6.11.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

素 案 作 成 者：一般財団法人光産業技術振興協会
(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル)

審 議 委 員 会：電子分野産業標準作成委員会 (委員長 平本 俊郎)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義並びに略語	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 略語	2
4 分類	2
5 光コネクタインタフェース仕様	2
6 電気インタフェース仕様	2
6.1 一般事項	2
6.2 電気端子番号	3
6.3 電気端子配置	3
7 きょう（筐）体外形及びフットプリント	4
7.1 きょう（筐）体外形図	4
7.2 光レセプタクル	9
7.3 フットプリント図	9
解 説	12

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 5952-2:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS C 5952 規格群（光伝送用能動部品－パッケージ及びインタフェース標準）は、次に示す部で構成する。

JIS C 5952-1 第 1 部：総則

JIS C 5952-2 第 2 部：10 ピン SFF 形光トランシーバ

JIS C 5952-3 第 3 部：20 ピン SFF 形光トランシーバ

JIS C 5952-5 第 5 部：SC（F04 形）コネクタ付 1×9 ピン光送信・受信モジュール及び光トランシーバ

JIS C 5952-6 第 6 部：ATM-PON 用光トランシーバ

JIS C 5952-11 第 11 部：14 ピン変調器集積形半導体レーザ送信モジュール

JIS C 5952-12 第 12 部：同軸形高周波コネクタ付半導体レーザ送信モジュール

光伝送用能動部品— パッケージ及びインタフェース標準— 第2部：10ピン SFF 形光トランシーバ

Fiber optic active components and devices—
Package and interface standards—Part 2: SFF 10-pin transceivers

序文

この規格は、2010年に第2版として発行された IEC 62148-2 を基に作成した日本産業規格である。

光トランシーバは、電気信号を光信号に、又は光信号を電気信号に変換するために使用する。この規格は、10ピン SFF (small form factor) 形光トランシーバの物理インタフェースに関するものである。ここで規定する光トランシーバは、MT-RJ 形/LC 形/MU2 心形コネクタに対応するものであり、また、貫通穴をもつプリント配線板上で使用される。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、MT-RJ 形/LC 形/MU2 心形コネクタ付 10ピン SFF 形光トランシーバ群の物理インタフェース仕様について規定する。この規格は、光トランシーバの物理インタフェース仕様を適切に規定することで、この規格に適合する光トランシーバを、プリント配線板及びパネルマウントに実装する場合の機械的互換性を確保することを目的とする。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 62148-2:2010, Fibre optic active components and devices—Package and interface standards—Part 2: SFF 10-pin transceivers (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、発行年の記載がある場合は該当する版を用い、発行年の記載がない場合は最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 5952-1 光伝送用能動部品—パッケージ及びインタフェース標準—第1部：総則

注記 対応国際規格における引用規格：IEC 62148-1, Fibre optic active components and devices—